

備前市事務事業評価シート

事業の概要		昭和56年度～	根拠法令・例規等	漁業振興特別対策事業実施要項、水産多面的機能発揮対策交付金交付要綱等
事業開始年度	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	
総合計画	大項目	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	産業振興課
	中項目	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	職・氏名 水産係長・菊川智宏
	小項目	01	水産基盤整備事業	電話 0869-64-1836
事務事業名	01	水産基盤整備事業	このシート作成に要した時間 2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	地元漁業協同組合等	
目的(何のために)	現在の漁場環境では、今後、大幅な漁獲高の伸びは期待できないため、人工魚礁や消波施設等の設置により有用魚介類の増殖や漁場の整備が必要で、特に稚魚の生息場所として、かつ、海洋環境の保全に重要なアマモ場の造成を行う。また、より効率的かつ安定した漁業経営が可能となる施設を整備する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	水産業の生産性を向上させ、産業としての自立性を高めて行くためには、漁場を改良し水産資源の生育環境を改善するとともに、施設整備を行い、より効率的かつ安定した漁業経営を目指す。	

事業の実績				Do
細事業名	事業の説明	優先度	達成度	
東備地区広域漁場整備事業負担金	平成14年度から岡山県が事業主体となり、漁業資源の維持・増大を図るために、人工魚礁や消波施設等の設置やアマモ場の造成を行う。平成25年度で完了し、26年度から東備地区水産環境整備事業として事業完了後のモニタリング調査を実施し、事業費の10%が地元負担となる。	○		
漁業振興特別対策事業	市内の各漁業協同組合が事業主体となり、より効率的、安定的な漁業経営が可能となる施設整備等に対し、県より採択をうけた事業に対して補助する。平成25年度は伊里漁業協同組合の涼霧機器5台、涼霧ポンプ及び付帯設備一式の設置に対して、1,273千円(内県費1,013千円)を補助。	◎		
水産多面的機能発揮対策事業	水産業・漁村の持つ多面的機能の発揮を図るため、藻場の造成等、効果的・効率的な多面的機能の発揮に資する活動組織に対して交付金を交付する。平成25年度交付額は1,562千円(内県費781千円)。	◎		
里海づくり事業	アマモ場等の再生や適切な資源管理を推進し、豊かな生態系を持つ里海づくりを目指し協議した。	○		
海洋牧場有効活用協議	海洋牧場整備後の漁場や海域利用のルールづくり等、沿岸域の活性化のための総合的な管理について協議した。	◎		
東備水産振興協議会負担金	東備地域における漁業資源の維持増大、漁場環境の保全等により漁家経営の安定化等を図ることを目的に設置された協議会に対する地元負担金。平成25年度負担額は100千円。	▲		
全国漁港漁場協会負担金	沿岸漁場整備開発事業及び漁業経営構造改善事業に関する調査及び指導助言、技術の育成、啓発普及等を目的に設置された協会に対する地元負担金。平成25年度負担額は20千円。	▲		
漁港整備県工事負担金	県が実施する漁港整備事業に対する地元負担金。平成25年度負担額は10,218千円。	◎		
港勢調査等事務	漁港行政及び水産基盤整備事業に必要な基礎資料を作成する。	▲		
漁場環境保全事業支援事務	漁業者等による漁場環境の保全活動や里海創生活動等に対して支援を行う。	○		
産地水産業強化支援事業	カキ生産体制の安定化及び高度衛生管理、労働環境の改善による漁業所得の向上を図るため、平成25～26年度の2ヶ年で頭島にカキ処理施設を整備する(国庫補助事業)。平成25年度は補助決定を受け、設計及び第1期工事に着手した。平成25年度交付額は32,589千円(内県費28,755千円)	◎		
岡山漁場地区水産物供給基盤機能保全事業負担金	整備後の増殖場(中間育成施設)や養殖場(消波施設)の管理を計画的に取り組むことにより、施設の長寿命化を図る機能保全計画を策定する。平成24年度事業実施。	▲		
水産施設協議事務	補助事業等で設置した水産施設について協議。	○		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業必要人員費	事業費	千円	39,949	59,735	45,988
	必要人員	人	0.87人	6.293	1.15人
	費計	千円	46,242	66,743	56,469
決算額	国庫支出金	千円	6,750	6,200	30,549
	受益者負担				
	繰入金				
	財源	千円	26,500	44,600	12,300
一般財源					
受益者負担比率	%	12.992	15.943	13.620	

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標	件	3	3	3
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	13,809,000	10,986,000	41,339,000
	単位当たりコスト	円	4,603,000	3,662,000	13,779,667

事業の成果						(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
漁獲高(トン)	目標値(A)	300	300	300	300	
	実績値(B)	286	228	213	到達目標値	
	達成率(B/A)	95.33%	76.00%	71.00%	95.33%	380
成果指標設定の考え方・式や説明						
漁獲物の商品価値の向上及び漁業経営の安定						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	施設整備等に関する補助金及び交付金が3件、県実施の漁港整備事業に対して負担金を支出。特に、平成25年度から日生町頭島地区において、カキ処理施設の建設(国庫補助事業)に着手、平成26年中に本体工事を完了し、施設稼働予定。また、平成26年度から、広域漁場整備事業(海洋牧場)完了後のモニタリング調査を実施する。						

総合評価		B
漁業施設については、計画的に整備されている。特に、頭島地区のカキ処理施設整備について、補助決定を受け、工事着手した。また、日生町鹿久居島海域の東備地区広域漁場整備事業(海洋牧場)が完了した。ソフト面では、引き続きアマモ場の造成等、水産業・漁村のもつ水産多面的機能の発揮を図るための支援を実施。	総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い	B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	海を活かした地域の活性化を図る仕組み、いわゆる海域と陸域を総合的に管理する仕組みの構築、また水産業・漁村のもつ水産多面的機能の発揮を図り、里海づくりを推進する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな